

令和2年度 江戸川区立小岩小学校 学校関係者評価 報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○考える子(確かな学力) ○思いやりのある子(豊かな心) ○元気な子(健やかな体)	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>新学習指導要領に基づく学習指導の重点化と研究推進、いじめ・不登校に対する組織的対応の充実、組織的学校の運営と働き方改革に基づく取組の充実 <課題>新学習指導要領に基づく学習指導の重点化に基づく具体的手立ての明確化、あいさつや基本的生活習慣の定着のための学校・家庭・地域の連携、主幹教諭や主任教諭を軸とした組織的学校の運営の定着と、働き方改革の一層の推進、コロナ禍の教育活動と学校運営の推進		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	コロナ禍のため、教員同士の情報交換、可能なら文化交流の実施	教員情報交換交流3回実施 文化的交流1回実施	B	B	コロナ禍 取組中止 連携したあいさつ運動の実施 今後の取組の充実	B	評議員:学習や文化活動など、小中連携を継続し、9年間の積み重ねてほしい。	効果的な交流の実施 充実・日常化
	思考力等の育成(校内研究 授業モデル)	新学習指導要領に基づき、各教科等で思考力等の育成の重視	全学級で思考力等を養う問題解決的な学習の実施	全教員の授業公開実施 校内研究による検証24回	A	A	思考力育成授業 全教員公開 取組:A52.2% B39.1% C8.7% D0% 成果:A21.7% B65.2% C13.0% D0%	A	評議員:思考力等の育成を継続してほしい。家庭学習など家庭への啓発も必要ではないか。	校内研究による思考力等の指導法開発・充実
	あいさつの定着(生活スタンダード)	児童自ら進んであいさつができるようにする指導の工夫	学校全体・学年学級によるあいさつ指導の充実	コロナ禍 自己評価:AB80%以上 学校評議員評価AB80%以上	B	B	取組:AB96.2% CD3.8% 成果:AB92.3% CD7.7% 家庭と一層連携した定着	B	保護者:AB86.3% 保護者:できる子どもでない子がいる。評議員:家庭や地域と連携して定着させてほしい。	学校・地域・家庭並びに小中の一層の連携により定着
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT研修の実施 eライブラリ活用の補習実施	ICT研修年5回 eライブラリ活用の補習年6回	B	B	ICT研修年5回実施 コロナ禍、eライブラリ活用の補習1回実施	B	評議員:時代が変化している。更に子どものために効果的活用を進めてほしい。	GIGAスクール構想に基づくICT活用及び情報活用能力育成
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	通常級と巡回指導・弱視学級の連携・相互支援	校内研修実施年2回 個別対応会議の実施20回以上 理解教育2回	B	B	校内研修実施 コロナ禍、1回実施 個別対応会議の対象全児童実施 理解教育2回実施	B	評議員:通常学級と特別支援の先生が連携しているのがよい。継続してほしい。	新規策定の特別支援教育コアプランによる推進充実
	校内研究の充実 授業モデルの開発	新学習指導要領に基づき、各教科等で思考力等の育成の重視	全学級で思考力等を養う問題解決的な学習の実施	全教員の授業公開実施 校内研究による検証24回	A	A	思考力育成授業 検証24回 取組:A52.2% B39.1% C8.7% D0% 成果:A21.7% B65.2% C13.0% D0%	A	保護者・評議員:思考力等の育成を継続してほしい。	校内研究による思考力等の指導法開発・充実
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習教室の実施 ベーシックドリルの指導と検証 コアプランの実施	補習教室 年80回実施 ベーシックD正答率10%向上 コアプラン検証2回	B	B	取組:A30% B61% C9% D0% 成果:A26% B65% C9% D0% 補習教室120回実施(外部活用)	B	評議員:コロナ禍、新学習指導要領に基づく指導を徹底している。更に個に応じた指導を進めてほしい。	コアプランに基づく基礎基本(知識・技能)の定着
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学びの充実	図書ボランティアの活用 問題解決的な学習(校内研究)と連動した取組推進 調べ学習の図書館活用	図書ボラ読み聞かせ年8回 探究的活動:各学級年3回 学校図書館活用各学級週1回	B	B	人や社会、自然に関わる探求的学習実施。問題解決結果をポップ作品で表現。コロナ禍、図書ボラ読み聞かせ未実施。環境整備のみ。	B	評議員:さらに学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。	区書科指導指針に基づく指導の充実 小岩図書館との連携
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	コロナ禍 仮設校舎 ・休み時間体育の実施 ・竹馬・なわとび運動実施	・休み時間体育年35回 ・竹馬・なわとび 全学級集中期間1回設定	B	B	取組AB88.5% 成果AB88.5% 全校竹馬活動実施 仮設・コロナ禍 運動場所・機会の確保課題	B	評議員・保護者:改革とコロナで運動の制約がある。日常的な体力向上を更に充実させてほしい。	体力テスト結果の課題 種目の重点的強化 体力づくりの日常化
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	オリ・パラ教育レガシー創造プランに基づく取組 年35時間	コロナ禍 自己評価:AB80%以上 学校評議員評価AB80%以上	B	B	AB88.5% CD11.5% 自己評価:AB80%以上 学校評議員評価AB80%以上	B	評議員:地域の田子ノ浦部屋力士による相撲教室ができるようになるとうい。	レガシープランに基づくオリパラ教育の取組充実
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	研修会の実施 ALTとの連携指導の実施	推進リーダー中心に研修会3回実施 ALT打合せ8学級×35回以上実施。	B	B	コロナ禍 資料による研修実施 ALT打合せ63回実施	B	評議員:学習指導要領に基づき、さらに指導の充実を図ってほしい。	研修の充実と統一的な指導の実施
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	個別対応会議、学校相談、迅速な指導の実施 生活指導連絡協議会との連動	いじめ解消100%達成 不登校児童0名達成 生活指導連絡協議会事例の校内活用2回	B	B	いじめ解消149件(児童の誤認等の確認含む) 不登校対応中1件 個別対応会議20回実施	B	評議員:一層家庭と連携し、迅速な指導を続けてほしい。	いじめ解消100%・不登校児童0の達成 関係機関との連携一層強化
	基本的生活習慣の定着 相談体制	「小岩小生活スタンダード」の推進による児童の生活習慣の向上	家庭と連携した基本的生活習慣の徹底	コロナ禍 自己評価:AB80%以上 保護者アンケートAB80%以上	B	B	取組:AB92.3% CD7.7% 成果:AB88.5% CD11.5% 家庭とSNSルールの推進実施	A	保護者:AB91.8% CD8.2% 保護者:一層、家庭と協力して取り組んでほしい。	合言葉等による考えさせる指導や保護者連携の充実
学校運営	相談体制の充実	個々の保護者と信頼関係を築く工夫や保護者会等で保護者と教員(学校)、保護者同士が連携する工夫	コロナ禍 保護者と日々の連携 保護者会等の工夫	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	A	A	取組:AB92.6% CD7.4% 成果:AB85.2% CD14.8% 相談・関わり件数のべ27860件	B	保護者:AB84.2% CD15.8% 保護者:きめ細かく相談に応じている。コロナで様子がわからなかった。	学校相談の継続 広報活動の充実 周年に向け協働
	組織的学校の運営	主たる担当職務で、起案や推進、調整、報告相談などに取組の充実	効果・効率を考えた学校運営の推進	自己評価:AB評価70%以上 学校評議員評価:B以上	B	B	取組:AB77.8% CD22.2% 成果:AB77.8% CD22.2%	B	評議員:コロナ禍でも組織的運営が進んでいる。若い先生も努力して運営を進めてほしい。	教職員一人一人の自立的学校の運営の推進